



**【 研 究 部 】**

	役割	5年間の取組内容／取組指標	着手年度の目安					成果指標	成果と課題の整理
			24	25	26	27	28		
実行策シート1	【共同実施により新しい学校事務を創る】 共同実施で学校教育力の向上をめざすためには	◎組織化に対する事務職員の意識改革を推進します。	時代の変化に対応し、教育の質の向上を目的とする学校事務職員像を提案します。	○					
		◎事務職員のマネジメント力向上ができるような研修内容を提案します。	全国の先進的研究成果、学術理論を収集・理解し、情報の共有化を推進します。	○					
		◎全国の実践事例の分析・データベース化を推進します。	学校組織マネジメント研修の推進に積極的に協力します。	○					
		◎組織化による学校事務の効果的な取り組み、小中連携への関わりについて提案します。	全国の実践事例の分析・データベース化を推進します。	○					
		◎共同実施内OJTによるスキルアップシステムについて研究します。	全国の先進的研究成果、学術理論を収集・理解し、研究と情報の共有化を推進します。	○					
		◎共同実施によるシステム化・ICT化を提案します。	共同実施内OJTによるスキルアップシステムについての研究を推進し、その成果を提供・広報します。	○					
実行策シート2	【事務職員の資質能力向上への取り組み】 研修制度の充実と体系化を図る	◎トータルプロデューサーについてその必要性を幅広く周知します。	研究大会等でトータルプロデューサーの必要性、具体的な役割・業務についてわかりやすく説明します。	○					
		◎新しい時代の学校事務を担う事務職員を育成する研修体系を構築します。	体系的学校事務職員研修プログラムの研究を推進するとともに、講師派遣に積極的に協力します。				○		
		◎安定した責任ある事務処理体制のための、職制について研究します。	全国の先進的研究成果、学術理論を収集・理解し、事務長制度等の新たな制度研究と情報の共有化を推進します。	○					
		◎望ましい教職員評価システムの研究を進め、事務職員の人材育成をめざします。	全国の先進的研究成果、学術理論を収集・理解するとともに、全国の教職員評価システムの現状を把握しながら、事務長制度も踏まえた「めざす学校事務職員像」に近づくための評価システムを研究します。				○		
		◎教員とともに教育を創るため、教育課程についての研修を充実します。	全国の先進的研究成果、学術理論を収集・理解し、学校事務職員の教育課程への関わりについて、実際の教育活動、指導計画と学校財務の関連などの研究と情報の共有化を推進します。	○					
		◎キャリアステージに応じた研修体制を確立していきます。	体系的学校事務職員研修プログラムの研究と併せて、職能別研修プログラムの研究を推進します。				○		
実行策シート3	【学校教育目標実現のための取り組み】 教育活動への具体的な関与に	◎学校教育目標達成のための組織マネジメントを推進します。	学校組織マネジメント実践事例の積極的な情報共有化に努めます。	○					
		◎学校組織の活性化と円滑な運営が行えるよう、教育支援システム(授業等の教育活動を効果的かつ円滑に進めるための事務職員による情報・財務面からのサポート体制)の研究開発を進めます。	特に教員と連携した業務の具体的な在り方について、全国の先進的研究成果、学術理論を収集・理解し、学校組織マネジメントと教育支援に関する研究と情報の共有化を推進します。	○					
		◎学校の事務機能を見直し、権限と責任を明確にし、教員の事務負担軽減を図る方策に取り組みます。	個別の事務業務について、完結までの過程を明らかにし、全国の先進的研究成果、学術理論を収集・理解し、学校事務機能と教員の事務負担軽減に関する研究と情報の共有化を推進します。	○					
		◎学校財務と教育活動を結びつけ、効果的な教育条件整備を研究します。	市町村費や私費、その他の財源をトータルで考える学校財務マネジメントについて、全国の先進的研究成果、学術理論を収集・理解し、学校財務と教育活動に関する研究と情報の共有化を推進します。	○					
		◎教育課程を理解し、学校事務の立場から立案、作成に関与します。	全国の先進的研究成果、学術理論を収集・理解し、学校事務職員の学校経営と教育課程への参画について、研究と情報の共有化を推進します。	○					

**【 研 修 部 】**

	役割	5年間の取組内容／取組指標	着手年度の目安					成果指標	成果と課題の整理	
			24	25	26	27	28			
実行策シート1 【共同実施により新しい学校事務を創る】	共同実施で学校教育力の向上をめざすためには	◎事務職員のマネジメント力向上ができるような研修内容を提案します。	他県の研修状況を調査し、研究団体としての学校組織マネジメント研修演習講座の企画を推進します。		○					
		◎組織化による学校事務の効果的な取り組み、小中連携への関わりについて提案します。	全国の先進的研究成果、学術理論に、会員が触れる場として研究大会等の企画を推進します。		○					
		◎共同実施内OJTによるスキルアップシステムについて研究します。	共同実施内OJTによるスキルアップシステムについての研修企画を検討します。					○		
		◎共同実施によるシステム化・ICT化を提案します。	共同実施のシステム化・ICT化に関する研修企画を検討します。		○					
実行策シート2 【事務職員の資質能力向上への取り組み】	研修制度の充実と体系	◎トータルプロデューサーについてその必要性を幅広く周知します。	研究大会等でトータルプロデューサーをテーマとした研修を検討します。		○					
		◎新しい時代の学校事務を担う事務職員を育成する研修体系を構築します。	体系的学校事務職員研修の講座開設を企画します。					○		
		◎安定した責任ある事務処理体制のための、職制について研究します。	研究大会等で事務長制度をテーマとした研修を検討します。					○		
		◎教員とともに教育を創るため、教育課程についての研修を充実します。	研究大会等で教育課程をテーマとした研修を検討します。		○					
		◎キャリアステージに応じた研修体制を確立していきます。	体系的学校事務職員研修及び職能別研修の企画について研究します。					○		
実行策シート3 【学校教育目標実現のための取り組み】	教育活動に動いて具体的な関与	◎学校教育目標達成のための組織マネジメントを推進します。	学校組織マネジメント実践事例をテーマとした研修を検討します。		○					
		◎学校組織の活性化と円滑な運営が行えるよう、教育支援システム(授業等の教育活動を効果的かつ円滑に進めるための事務職員による情報・財務面からのサポート体制)の研究開発を進めます。	研究大会等で、教員との連携や教育支援をテーマとした研修を検討します。		○					
		◎学校の事務機能を見直し、権限と責任を明確にし、教員の事務負担軽減を図る方策に取り組みます。	研究大会等で教員の事務負担軽減をテーマとした研修を検討します。		○					
		◎学校財務と教育活動を結びつけ、効果的な教育条件整備を研究します。	研究大会等で学校財務をテーマとした研修を検討します。		○					
		◎教育課程を理解し、学校事務の立場から立案、作成に関与します。	研究大会等で学校経営と教育課程参画をテーマとした研修を検討します。		○					

**【 広 報 部 】**

	役割	5年間の取組内容／取組指標	着手年度の目安					成果指標	成果と課題の整理
			24	25	26	27	28		
実行策シート1 【共同実施により新しい学校事務を創る】	力の向上をめざすため	◎組織化に対する事務職員の意識改革を推進します。	広報誌「いぶき」等によるグランドデザインの周知・広報及び実践の紹介を通じて、啓発・定着を図ります。	○					
	には	◎全国の共同実施の調査、分析を行い、その情報の共有に努めます。	広報誌「いぶき」等による共同実施の実践紹介を通じて、情報の共有化を図ります。	○					
	教育	◎共同実施によるシステム化・ICT化を提案します。	共同実施のシステム化・ICT化に関する実践事例を広報誌「いぶき」等を通じて紹介します。	○					
実行策シート2 【事務職員の資質向上への取り組み】	研修制度の充実と	◎トータルプロデューサーについてその必要性を幅広く周知します。	広報誌「いぶき」を通じて、トータルプロデューサーについて広報します。	○					
実行策シート3 【学校教育目標実現のための取り組み】	教育活動への具体的な関与について	◎学校教育目標達成のための組織マネジメントを推進します。	学校組織マネジメントに関する実践事例を広報誌「いぶき」等を通じて紹介します。	○					
		◎学校組織の活性化と円滑な運営が行えるよう、教育支援システム(授業等の教育活動を効果的かつ円滑に進めるための事務職員による情報・財務面からのサポート体制)の研究開発を進めます。	教育支援システムに関する実践事例を広報誌「いぶき」等を通じて紹介します。	○					
		◎学校の事務機能を見直し、権限と責任を明確にし、教員の事務負担軽減を図る方策に取り組みます。	教員の事務負担軽減をテーマとする特集を「いぶき」等に設定するなどして、方策の情報共有化を図ります。	○					
		◎学校財務と教育活動を結びつけ、効果的な教育条件整備を研究します。	学校財務が教育活動に機能した実践例の特集を「いぶき」等に設定するなどして、学校財務と教育活動の関係について意識啓発を図ります。	○					
		◎教育課程を理解し、学校事務の立場から立案、作成に関与します。	教育課程参画に関する実践事例を広報誌「いぶき」等を通じて紹介します。	○					

【 O A 研究推進委員会 】

		役割	5年間の取組内容／取組指標	着手年度の目安					成果指標	成果と課題の整理
				24	25	26	27	28		
実行策シート1	【共同実施により新しい学校事務を創る】	共同実施で学校教育力の向上をめざすためには	◎組織化に対する事務職員の意識改革を推進します。	新たな学校事務職員の役割を意識付けるために、学校事務統括システムの開発を通して、徹底した事務処理の省力化・効率化を推進します。	○					
			◎組織化による学校事務の効果的な取り組み、小中連携への関わりについて提案します。	事務の共同実施，学校間連携，地域連携を推進するためのソフトウェアについて研究します。				○		
			◎共同実施内OJTによるスキルアップシステムについて研究します。	共同実施内OJTで活用できるICTスキルアップ研修プログラムについての研究を推進します。	○					
			◎共同実施によるシステム化・ICT化を提案します。	共同実施のシステム化・ICT化に関する研究を推進します。	○					
実行策シート2	【事務職員の資質能力向上への取り組み】	研修制度の充実と体系化を図る	◎新しい時代の学校事務を担う事務職員を育成する研修体系を構築します。	体系的学校事務職員研修プログラムのICT分野の研究を推進するとともに、講師派遣に積極的に協力します。					○	
実行策シート3	【学校教育目標実現のための取り組み】	教育活動への具体的な関与について	◎学校教育目標達成のための組織マネジメントを推進します。	学校組織マネジメントが機能するための校内ICT環境整備及び活用の研究を推進します。	○					
			◎学校組織の活性化と円滑な運営が行えるよう、教育支援システム(授業等の教育活動を効果的かつ円滑に進めるための事務職員による情報・財務面からのサポート体制)の研究開発を進めます。	教育支援システムが機能するための学校や共同実施のICT環境整備及び活用の研究を推進します。	○					
			◎学校の事務機能を見直し、権限と責任を明確にし、教員の事務負担軽減を図る方策に取り組みます。	教員の事務負担軽減を目的とした校務事務のICT化に関する研究を推進します。	○					
			◎学校財務と教育活動を結びつけ、効果的な教育条件整備を研究します。	学校行事や授業に必要な「教材・教具・人材」と経費をデータベース化するなど、教育条件整備を推進するための研究を推進します。	○					
			◎教育課程を理解し、学校事務の立場から立案、作成に関与します。	教育課程編成支援ソフト等の研究開発について検討します。	○					

## 【 事 務 必 携 編 集 委 員 会 】

			役割	5年間の取組内容／取組指標	着手年度の目安					成果指標	成果と課題の整理
					24	25	26	27	28		
実行策シート1	【共同実施により新しい学校事務を創る】	共同実施で学校教育力の向上をめざすためには	◎全国の共同実施の調査、分析を行い、その情報の共有に努めます。	「学校事務必携」を通じて県内の各支援室の設置状況及び概況についての情報提供を図ります。	○						
			◎組織化による学校事務の効果的な取り組み、小中連携への関わりについて提案します。	共同実施業務を想定した「学校事務必携」編集について研究します。	○						
				小中連携や地域連携を想定した「学校事務必携」編集について研究します。				○			
			◎共同実施によるシステム化・ICT化を提案します。	共同実施のシステム化を円滑に進めるために、「学校事務必携」の編集の工夫や各種情報提供の方法について研究します。	○						
実行策シート2	【事務職員の資質能力向上への取り組み】	研修制度の充実と体系化を図る	◎トータルプロデューサーについてその必要性を幅広く周知します。	「学校事務必携」の中でトータルプロデューサーについて周知・広報します。	○						
実行策シート3	【学校教育目標実現のための取り組み】	教育活動への具体的な関与につ	◎学校教育目標達成のための組織マネジメントを推進します。	学校組織マネジメント機能を意識した「学校事務必携」編集に取り組みます。	○						
			◎学校組織の活性化と円滑な運営が行えるよう、教育支援システム(授業等の教育活動を効果的かつ円滑に進めるための事務職員による情報・財務面からのサポート体制)の研究開発を進めます。	学校行事や教育課程進行を意識した「学校事務必携」編集に取り組みます。	○						
			◎学校の事務機能を見直し、権限と責任を明確にし、教員の事務負担軽減を図る方策に取り組みます。	教員の校務事務のスケジュールを意識した「学校事務必携」編集の研究を推進します。	○						
			◎学校財務と教育活動を結びつけ、効果的な教育条件整備を研究します。	学校行事や授業に必要な「教材・教具・人材」情報を取り入れるなど、教育条件整備を推進するための研究を推進します。	○						
			◎教育課程を理解し、学校事務の立場から立案、作成に関与します。	学校行事や教育課程進行を意識した「学校事務必携」編集に取り組みます。	○						

## 【 学 校 事 務 の 手 引 編 集 委 員 会 】

			役割	5年間の取組内容／取組指標	着手年度の目安					成果指標	成果と課題の整理
					24	25	26	27	28		
実行策シート1	【共同実施により新しい学校事務を創る】	力の向上をめざすため	◎共同実施内OJTによるスキルアップシステムについて研究します。	共同実施内OJTによるスキルアップに活用するために、「学校事務の手引き」の編集やOJT研修教材について研究します。				○			
			◎共同実施によるシステム化・ICT化を提案します。	共同実施のシステム化を円滑に進めるために、「学校事務の手引き」をサポートするQ&Aや最新情報の提供サービスに関するICT化を研究します。				○			
実行策シート2	【事務職員の資質能力向上への取り組み】	研修制度の充実と体系化を図る	◎新しい時代の学校事務を担う事務職員を育成する研修体系を構築します。	体系的学校事務職員研修プログラムの実務及び法規分野の研究を推進するとともに、講師派遣に積極的に協力します。				○			
実行策シート3	【学校教育目標実現のための取り組み】	教育活動への具体的な関与について	◎学校教育目標達成のための組織マネジメントを推進します。	学校事務職員が、学校組織マネジメント機能にスムーズに移行できるよう、より実践的な事務処理手続きの手引きとしての方向性を検討します。	○						
				「手引き」における学校の情報公開・情報管理に関する分野の拡充による情報マネジメントの推進について研究します。	○						
			◎学校組織の活性化と円滑な運営が行えるよう、教育支援システム(授業等の教育活動を効果的かつ円滑に進めるための事務職員による情報・財務面からのサポート体制)の研究開発を進めます。	「手引き」における学校行事等の教育活動に関連する職員の勤務や特殊業務手当、旅費に関する内容充実を図り、円滑な学校運営をサポートします。	○						
			◎学校の事務機能を見直し、権限と責任を明確にし、教員の事務負担軽減を図る方策に取り組みます。	「手引き」の就学援助、教科書無償給与、学籍事務に関する事務処理について、内容の拡充を図ります。	○						
			◎学校財務と教育活動を結びつけ、効果的な教育条件整備を研究します。	「手引き」における学校の予算執行、学校施設建築・管理に関する分野の拡充による教育条件整備の推進について研究します。	○						
			◎教育課程を理解し、学校事務の立場から立案、作成に関与します。	「手引き」の学校行事等の教育活動に関連する職員の勤務や特殊業務手当、旅費に関する内容充実を図り、的確な教育課程経営判断をサポートします。	○						

【 ホーム ページ 担当 】

		役割	5年間の取組内容／取組指標	着手年度の目安					成果指標	成果と課題の整理	
				24	25	26	27	28			
実行策シート1	【新しい学校事務を創る】	育力共同実施のための向上をめざす	◎事務職員のマネジメント力向上ができるような研修内容を提案します。 鹿事研ホームページ上にマネジメント研修関連情報をリンクさせ、会員の研修環境を整備します。	○							
		◎全国の共同実施の調査、分析を行い、その情報の共有に努めます。	鹿事研ホームページ上にデータベースをリンクさせ、情報の共有化を図ります。	○							
実行策シート2	【事務職員の資能向上への取り組み】	◎新しい時代の学校事務を担う事務職員を育成する研修体系を構築します。	鹿事研ホームページ上に研究大会・研修講座・セミナー等の情報をリンクさせ、会員の研修環境を整備します。	○							
		◎望ましい教職員評価システムの研究を進め、事務職員の人材育成をめざします。	鹿事研ホームページ上に教職員評価システム関連情報をリンクさせ、会員の研修環境を整備します。				○				
		◎教員とともに教育を創るため、教育課程についての研修を充実します。	鹿事研ホームページ上に教育課程関連情報をリンクさせ、会員の研修環境を整備します。	○							
実行策シート3	【学校教育目標実現のための取り組み】	◎学校教育目標達成のための組織マネジメントを推進します。	鹿事研ホームページ上に学校組織マネジメントに関するサイトのリンク拡充を図り、ホームページを通じた学校組織マネジメントの情報発信を推進します。	○							
		◎学校組織の活性化と円滑な運営が行えるよう、教育支援システム(授業等の教育活動を効果的かつ円滑に進めるための事務職員による情報・財務面からのサポート体制)の研究開発を進めます。	鹿事研ホームページ上に教育コンテンツや授業支援に関するサイトのリンク拡充を図り、ホームページを通じた教育支援の情報発信を推進します。	○							
		◎学校の事務機能を見直し、権限と責任を明確にし、教員の事務負担軽減を図る方策に取り組みます。	鹿事研ホームページ上における教員の校務事務支援サイトのリンク拡充や校務事務の実践例・アイデア集のデータベース化について研究します。	○							
		◎学校財務と教育活動を結びつけ、効果的な教育条件整備を研究します。	鹿事研ホームページ上に学校財務が教育活動に機能した実践例や教育条件整備に関するサイトのリンク拡充を図ります。	○							
		◎教育課程を理解し、学校事務の立場から立案、作成に関与します。	鹿事研ホームページ上に教育課程編成に関するサイトのリンク拡充を図ります。	○							